

# 【耕畜連携】（京都府下 飼料用米を通じた交流と連携）

【京都府飼料用米生産利用推進研究会】

- 京都府飼料用米生産利用推進研究会は、飼料用米を中心に関係者が自由な意見交換を行うためのプラットフォームとして、平成21年に発足。
- 同研究会は、消費者や学生との交流などを目的とし、定期的な学習会や研修会などを実施。
- 京都生活協同組合との連携により、府内で生産された飼料用米を給与して生産された「さくらこめたまご」の通年販売を実現。「地産地消」「休耕田の活用」「循環型農業」をコンセプトに、飼料用米の配送・保管を支援する生産者応援金として卵1個につき1円を価格に上乗せ。
- 京都府では、試験研究機関と普及センターがタスクチームを組み、研究会の会員への技術的支援を実施。
- 令和5年には、鶏ふん堆肥に窒素成分を添加したペレット肥料の試作と、これを用いた飼料用米の栽培実証試験を実施。今後も課題の克服に向けた取組を継続する予定。

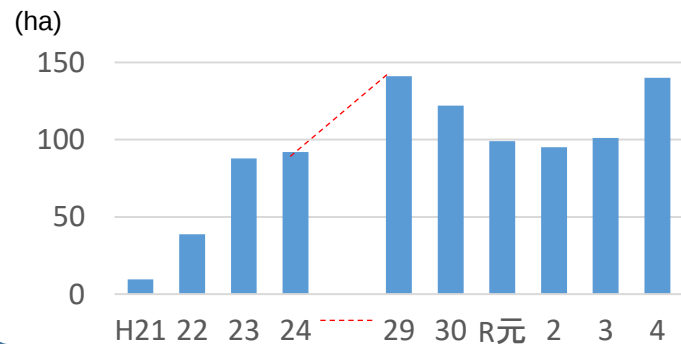


図1. 飼料用米作付面積の推移

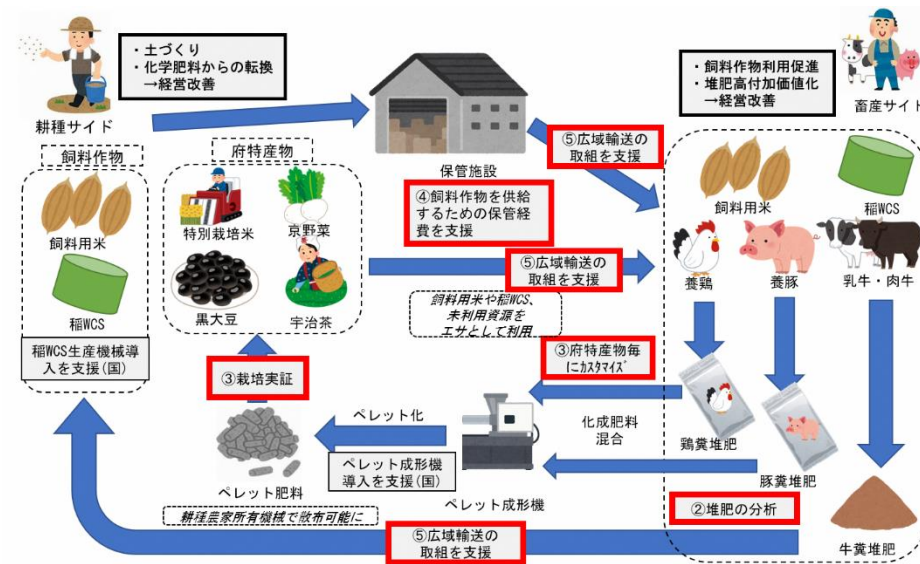


図2. 京都府における耕畜連携システム構築計画

写真: 現地研修会開催、ペレット堆肥試作実証